



# 雲南スペシャルチャレンジ 2018年度報告書



＼スペチャレ1年目！／

## 雲南の未来をひらく 14組のスペシャルチャレンジ！



「雲南スペシャルチャレンジ」は、  
日本の25年先の高齢化社会をいく雲南市の未来のために  
さまざまな課題にチャレンジする若者をサポートする新しいしくみです。

2018年度は、ふるさと納税や  
スペチャレスポンサーの皆さまからのご寄附で  
1期生として JUNIOR ジュニア8組、YOUTH ユース3組、HOPE ホープ3組が  
雲南市の未来をつくるために、チャレンジすることができました。

「スペチャレ」の  
しくみ

「雲南スペシャルチャレンジ」は、皆さまからのご寄附で  
チャレンジをサポートするしくみです。

### スペチャレサポーター

応援者 ふるさと納税

企業など 指定寄附、企業版ふるさと納税

雲南市  
雲南スペシャルチャレンジ事業

チャレンジ資金・サポート

中高生向け

JUNIOR スペチャレ・ジュニア

チャレンジ精神を養う  
国内・海外研修

大学生向け

YOUTH スペチャレ・ユース

徹底的に視野を広げる  
海外留学・インターン

若者向け

HOPE スペチャレ・ホープ

地域に必要な仕事を生み出す  
起業創業



If you can dream it, you can do it!

オーストラリア短期留学

JUNIOR 蓬岡 桃子さん 大東高校3年

私が一番学んだことは、母国語の違う人と関わる時には、語学力だけではなく「コミュニケーションをとりたい」という熱意も必要になるということです。ホストファミリーや現地の人と関わるうちに、語学力以外の大切なものが見えてきました。それは、行動力。自分から話しかけたり、足りない語学力を補うためにジェスチャーを使ったり努力をすること。こうした経験によって、進路がなかなか決められない時期もありましたが、自分の考えをまとめることができました。また、語学だけでなく、目標も見つけることができました。



雲南市を世界に!!

アメリカ短期留学

JUNIOR 新田 芽映さん 大東高校3年

留学中に感じたたくさんの文化の違いから、異文化理解というものは本当に難しいことなのだと実感しました。住む場所や文化によって考え方や価値観が全く異なっている。自分が今まで当たり前と思っていたことが当たり前ではないと思う人もいるのだということ。そして、それを理解し相手の立場になって物事を考えたりすすめることも必要なのだということを学びました。この経験がきっかけで、東京の大学に進学することとなりました。4年間様々なことにチャレンジし、いろんな人と関わりながら、さらに人間的にも成長していきたいです。



韓国が 좋아(好き)! -韓国をもっと日常に。  
韓国短期留学

JUNIOR 藤原 瑠夏さん 三刀屋高校2年

初めての海外ということで不安も多くあったけど、自分の好きな国に行けることに対しての期待は本当に大きなものがありました。学校もホームステイ先も日本人の方が多く、困った時に頼れる環境があったのは安心でした。一番は、多くの時間を費やして計画した高校訪問を無事に行えたことです。地元の高校生と交流したりすることで、理解できる単語も増え、自らの語学力が向上していることを実感できました。日本とは異なることも発見できましたが、この留学で本当にたくさんの人と出会うことができたのは何よりの思い出です。



多文化共生の雲南市へ!

アメリカ短期留学

JUNIOR 狩野 真弥さん 大東高校2年

強く感じたことは、何事も自分から行動しないと始まらないということです。初めての海外で困ることばかりだったけど、自分が何に困っているかを伝えないといふても変わらないという現実。辛いこともたくさんあったけど、この留学を中途半端に終わらせたくなかった私は積極的に話しかけるように心がけ成長を感じることができました。また、ロサンゼルスは、多宗教や肌の色などへの偏見も感じられず、日本よりも多文化共生社会が実現されていました。私は雲南市を、市民も在住の外国人の方も今よりもっと住みやすい町にしていきたいです。



## カンボジア探究!

カンボジアスタディツアー

**野村 朱里さん** 大東高校2年

便利でいろいろな物に溢れる日本とは違い、カンボジアは不便で物がなく、生き辛そうと思っていました。しかし、現地の人は今ある生活に満足し、和やかで優しく心のゆとりのようなものを感じました。このことから、普段の生活を見直したり、この生活が当たり前ではないという気持ちを常に持ち、カンボジアの人々のように心が広く、豊かな人になりたいと思いました。このツアーに参加して自分がこれまでいかに狭い世界で生き、限られたところしか見てこなかったことに気づきました。このギャップをたくさんの人々に伝えたいです。



## もっと知りたい! 文化の違い

カンボジアスタディツアー

**武田 華歩さん** 大東中学校3年

カンボジアの生活は、日本と比べると決して裕福と思えないけれど、カンボジアの人々は日本人よりもずっと幸せそうで、いつも笑顔でした。また、孤児院の子どもたちの夢は、先生や日本語ガイドなどで、私と同じくらいの年齢の子が夢に向かって日本語を一生懸命に勉強している姿を見て、学ぶことは環境ではなく意欲の問題などと感じました。中学生になり、世界の様々な文化や生活に興味を持ち、実際に自分の目で見てもっと知りたいと思いました。開発途上国には良い所がたくさんある!このことを雲南省の人たちに伝えたいです。



## 雲南に貢献する自分の武器を!

国内企業にインターン

**藤原 拓登さん** 高知大学3年

国内企業へインターンして学んだことは、エビデンスのある自分の意見、気づきが求められ、世の中の動きや様々な分野でのトレンドなど、今後どのような動きが起きてくるのか思考し意識することが必要だと学びました。そして、自分の強みや未熟な部分を新たに気づき、再確認することもできました。将来、島根県や雲南省にどのように関わって価値を生み出したいのか、どのように関われば自分自身の力を発揮できつつ、やりがい、生きがいを感じられるのかといったことをしっかりとと考えていきたいと思います。

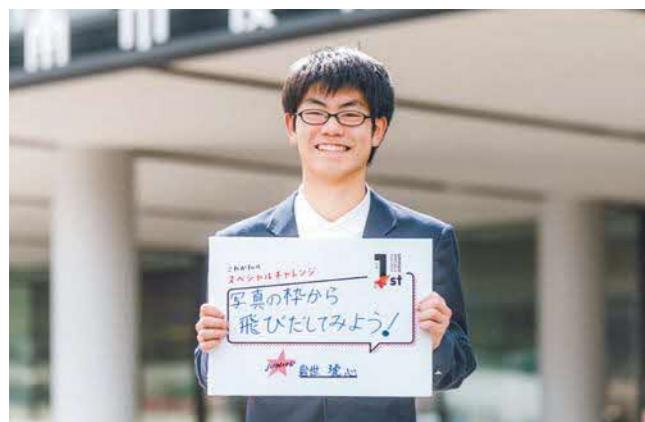


## Think Globally, Act Locally

アメリカへ大学留学

**内藤 舞さん** 関西外国語大学2年

この留学を通して学んだことは、「国が違って人の本質は同じ」ということです。アメリカに留学し、教授やホストファミリーなど沢山の素晴らしい方々と出会い、国や文化の違いよりも、同じ部分や共通点を見つけることが多かったです。また、異文化だけでなく様々な背景を持った人に対しても寛容なまちであることから、多文化共生が、長い年月をかけて創り上げられたものだと気づきました。この経験を踏まえ、雲南省の課題を広い視野で考えられる人材が増えるように、そして自分もそんな人材になれるよう尽力していきたいです。

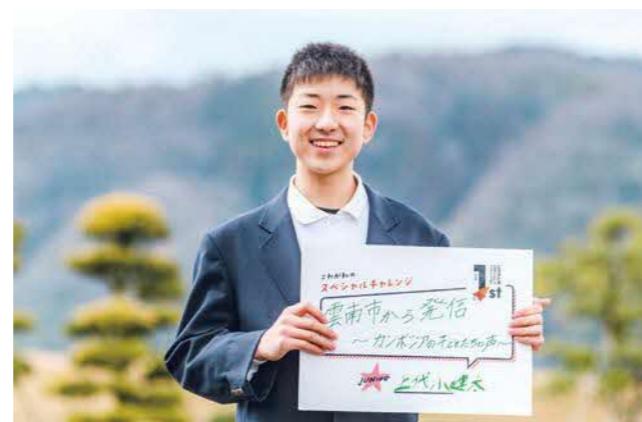


## 写真の枠から飛びだしてみよう!

カンボジアスタディツアー

**岩世 瑞心さん** 大東中学校1年

学校の社会の時間に一枚の写真を見ました。それは、スラム街での貧困を物語る一枚でした。写真一枚じゃ伝えきれない情報を自分の目で見たい。そんな思いでカンボジアに。そこには、確かに貧困を思わせるような光景が広がっていましたが、それと同時に強くたくましく生きる姿がありました。貧困は不幸であると決めつけてはならないということを孤児院の子どもたちを通して学びました。小さい体の売り子にも会い、買わざか買わざか悩みました。実際に自分の目でたくさんの知らないことを知れてよかったです。



## 雲南省から発信! ~カンボジアの子どもたちの声~

カンボジアスタディツアー

**上代 小建太さん** 大東中学校1年

一番の驚きは、カンボジアでは自死する人が少ないということです。孤児院に行ったとき、一人ぼっちの子どもがいなくてビックリしました。そこでは、みんなが仲良く遊び、協力し合いながら生活していました。町のなかでも一人ぼっちの子どもを見る事はありませんでした。日本は悩みを一人で抱え込む環境にあるから自死が多いのかなあ。この留学で学んだ、自分一人じゃ何もできないこと、協力することの大切さを伝え、一人でも多くの“ひとりぼっち”をなくしたい!



## Be yourself 常に成長を求める

アメリカへ大学留学

**岩間 慎太郎さん** 東海大学2年

ワシントン大学に留学する前に一週間、雲南省へインターンを行いました。様々な方々とお話しをする中で、「視野を広げることは、外の世界に向かっていくことなのか」という問い合わせが生まれ、自分の将来の方向性を言語化していくことによって、将来の目標が明確になった気がします。何かを創り出したいという思いがあり、海外でも同じように共感しあえるものと考えたとき、将来の目標が定まっています。留学中はileapなどのインターンシップに参加をし、語学以外の分野でも自分の力を伸ばしていきたいと思っています。



## アレルギーの人にも “美味しい”“楽しい”“笑顔”を届ける!!

アレルギー対応食の開発プロジェクト

**上田 まり子さん** Food Marico

ビジネスパートナーと「Kittchen7」という名称で、東京でのイベントやFood Maricoとしてのイベントなど行い、ビジネスモデルの模索をしました。その中で、当初計画していた事業と、実際にアレルギーと向き合っている方のニーズが異なることや、製造設備と確立されたプロセスが必要だと感じました。「特定原材料7品目不使用」に徹底的にこだわり、美味しいという喜びの時間を創るために、ネットセレクトショップとして今後もチャレンジをし続けます。



## 高齢者を光齢者に 「ひかりフィットネス」による雲南市健康延伸事業

杉村 阜哉さん 光プロジェクト(株)

外部講師と連携し、ひかりサロンの空きスペースを活用して新サービス「ひかりフィットネス」を立ち上げました。またショッピングリハビリ事業から2名の事業卒業生を輩出し、うち1名がフィットネス事業の利用に至るなど、介護給付費抑制にもつながりました。今後の課題は、ショッピングリハビリの事業拡大のため、専門家とエビデンスを再構築し、社会保障費に完全依存しなくとも、収益が上がる事業展開を図ります。そして、光齢者が雲南でいつもでも元気に過ごせるまちづくりにチャレンジをしていきます。



## 外国人も楽しいまちづくり 「うんなんグローカル拠点づくり」プロジェクト

李 在鎮さん 芝 由紀子さん  
うんなんグローカルセンター

多文化共生活動の拠点整備を行い、多文化ライブラリーとして開放し、多文化カフェSobanも飲食店営業許可を取得し、料理教室や多文化交流イベントを行っていきます。また、2月に多文化共生円卓会議を実施し、多様な参加者と活動の共有ができました。共生ビジョンづくりに向け、ワークショップなどを定期的に行います。そして、外国人住民と日本人住民が、地域で「豊かな時間」を共有し、外国人のネットワーク構築、子どもたちの交流の場を実現していきます。

(記載の学年などは当時の情報です)

私たちのチャレンジを  
応援してください  
**ありがとうございます！**  
THANK YOU!!



スペチャレ1年目はこんな感じでした!

# 2018年度の流れとまとめ

~2018年3月 みんなで制度検討



ロゴや名前も  
決めました！

まちの未来のために、どんな  
「スペチャレ」にするか、およ  
そ1年かけて多様な関係者で  
何度も議論を重ねました。

2018年6月 1期生の審査会



中学生・高校生も  
プレゼン！

プレゼンテーションや審査員  
との個別面談を行い、チャレ  
ンジプランのブラッシュアップ  
を行いました。

2018年7月 1期生前期のチャレンジがスタート！



いよいよ、1期生7組のチャレ  
ンジがスタート。サポートする  
事務局スタッフの伴走支援も  
始まりました。

2018年12月 1期生後期のチャレンジがスタート！



1期生後期として7組が新たに  
チャレンジを開始！1期生は総  
勢14組となり、切磋琢磨し合  
いました。

2019年3月 チャレンジ報告会



学びや実践の成果を発表。次  
期にエントリーを目指す学生・  
若者が参加し、グループディス  
カッションなどで今後のチャレ  
ンジについて語り合いました。

「スペチャレ」がみんなの目標となり、まちの未来をひらくチャレンジが  
さらに広がるよう雲南市みんなで挑戦していきます



多くの皆さまからご支援をいただき、1期生14組が新たな一歩を踏み出しました。公開プレゼンテーションによる審査会や事前・事後のフォローアップなど、チャレンジャーも、それを支える事務局スタッフも試行錯誤の一年でした。「雲南スペシャルチャレンジ」が、みんなの目標となりまちの未来をひらくチャレンジがさらに広がるよう、引き続き取組みを進めて参ります。そして、同様の課題を抱える地域のモデルとして、社会を変える、日本を変える先導役となれるよう、雲南市みんなで挑戦を続けて参ります。引き続きのご支援をよろしくお願いします。

## 2018年度事業の実績

区分	対象者	採択者数	補助金交付額
★スペチャレ・ジュニア	中高生	8組	2,227,000円
★スペチャレ・ユース	大学生	3組	1,075,000円
★スペチャレ・ホープ	若者	3組	3,000,000円
	計	14組	6,302,000円

皆さまからご支援いただいた寄附額（2019年3月末）

区分	寄附件数	寄附総額
ふるさと納税	1,075件	28,321,975円
企業寄附	3件	

# ふるさと納税で「スペチャレ」を応援してください。

下記の「ポータルサイト」から  
お申し込みいただけます。

寄附金の使い道をお選びいただく際に、  
スペシャルチャレンジに関する事業 をご指定ください。



## さとふる

さとふる 雲南

検索

決済方法

クレジットカード決済  
ドコモケータイ払い  
ソフトバンクまとめて払い  
auかんたん決済



ふるさと納税総合サイト  
**ふるさとチョイス**

ふるさとチョイス 雲南

検索

決済方法

クレジットカード決済



### 税制上の優遇措置

- ・個人の場合 ..... ふるさと納税制度により、寄附金(ふるさと納税)額のうち、2,000円を超える額について、一定の限度額まで所得税と個人住民税から全額控除できます。
- ・法人の場合 ..... 従来の軽減措置に加え、企業版ふるさと納税の場合はさらに寄附金額の最大3割、税控除を受けることができます。

その他の方法

「銀行振込」「郵便振替」などでのお申し込みや、ふるさと納税以外の方法でもご寄附いただけます。  
下記のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

＼募集中!! /

スペチャレを応援してくださっている

### 「スペチャレ」スポンサー



コカ・コーラボトラーズジャパン  
株式会社



ホシザキ株式会社



メトロ電気工業株式会社

お問い合わせ



雲南市役所 政策企画部 政策推進課

〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521-1

Tel 0854-40-1011 (受付時間 平日8:30~17:15)

雲南市

Mail seisakusuishin@city.unnan.shimane.jp



スペチャレについて詳しくは

雲南 スペチャレ 検索

<http://www.co-unnan.jp/special/>

2019年度も  
スペチャレ  
やります!

